

平成 25 年度 教育 研究 業績 書

氏名

高橋 春成

最終学歴	広島大学大学院文学研究科博士課程後期単位修得	
取得学位	博士(文学)	
所属学会	日本地理学会、人文地理学会、地理科学学会、ヒトと動物の関係学会、野生生物と社会学会、生き物文化誌学会、広島史学研究会、棚田学会など	
専門分野	生物地理学、文化地理学	
研究課題	人と生き物の歴史・文化的な関係、地域づくりと生き物、棚田や里山などの土地利用とその変化	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物地理学(前期) ・ 環境地理学(後期) ・ 地理学演習(通年) ・ 地理学卒業演習(通年)
	大学院修士課程担当科目(博士前期課程含)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域環境特論(通年) ・ 地誌学演習(通年) ・ ・
	大学院博士後期課程担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境論 ・ ・ ・
【研究上の特記事項】	江戸時代などに造られたイノシシやシカの農業被害対策用の石積みや土盛り(シシ垣)の遺構の保存と活用を目的に「シシ垣ネットワーク」を組織し(シシ垣ネットワーク代表)、毎年各地で「シシ垣サミット」を開催している。シシ垣を含むこれまでの生物地理学的研究が評価され、高橋春成編(2010)『日本のシシ垣-イノシシ・シカの被害から田畑を守ってきた文化遺産』(古今書院)により、2011年度日本地理学会賞(著作発信部門)を受賞した。また、琵琶湖の集水域である河川や源流の大切さを啓発する活動団体「びわ湖の森の生き物研究会」において(会長)、毎年各種の研究・啓発活動を行っている。	
【教育上の特記事項】	ゼミ活動では、「人と生き物の歴史・文化的な関わり」、「人と生き物の共生」、「棚田や里山の土地利用と変化」などをテーマに、現地調査を行い、実践的な教育を展開している。自動撮影カメラなどの機材を導入し、調査対象の生き物の撮影なども行っている。現地調査では、地元の住民や行政機関との連携を図っている。地域調査では、地元住民からの聞き取り調査や体験学習など実践的なものを重視している。	
【社会的活動】	①【学会関係】:地理科学学会評議員、人文地理学会評議員、ヒトと動物の関係学会評議員、広島史学研究会評議員、シシ垣ネットワーク代表、びわ湖の森の生き物研究会会長、立命館大学客員協力研究員 ②【審議会委員など】:IUCN(国際自然保護連合)のWild Pigs Specialist Group委員、農林水産省「農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー」、農林水産省競争的資金「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」の審査専門評価委員、「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業研究課題評価分科会」の委員。農林水産省「平成24年度鳥獣被害防止総合対策交付金(鳥獣被害対策基盤支援事業)審査委員会委員、大阪府イノシシ保護管理検討会会長、滋賀県イノシシ保護管理検討委員会委員長、奈良県自然環境保全審議会委員、奈良県鳥獣部会長など ③【市民講座など】:第6回シシ垣サミットを開催(シシ垣ネットワーク)(2013.10.26~27.沖縄県国頭村)、びわ湖の森のシシポジウム(2013.6.30.琵琶湖博物館)、滋賀県退職校長さざなみ会研修会での講演(2013.11.11)	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	全学人事委員会委員長、ユースホステル部顧問、バトミントンサークル顧問	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①イノシシの分布からみた人獣交渉史:山から里、そして街へ.	共著	2013/9/1	池谷和信編『日本地理学会ネイチャー・アンド・ソサエティ研究グループ監修 現代の生き物文化-地理学からの地平-』海青社.	近年のイノシシの分布拡大を、里山や里地の土地利用や生活様式の変化から分析した。住宅地や市街地などに出没するイノシシの行動要因についても焦点をあてた。
②鳥獣被害との苦闘の歴史	共著	2014/3/1	鳥獣被害対策基盤支援委員会編、農林水産省生産局監修『野生鳥獣被害防止マニュアル』農林水産省.	農林水産省生産局監修のもとに、近年の増大するイノシシ・シカ・サルによる被害対策防止マニュアルの作成を行った。当マニュアルは、都道府県、市町村の行政担当者をはじめ関係者に配布される。
③				
④				
⑤				
(学術論文)				
①				
②				
③				
④				
⑤				
(学会発表)				
①シンポジウム「生き物を飼育することと地域社会」のコメントーター		2014/3/1	2014年日本地理学会春季シンポジウム	主としてミツバチと人のかかわりに関する地理学的、人類学的な諸発表について、コメントを発表した。
②				
③				
④				
⑤				
(その他)				
①パンタナール大湿原の保全と課題	共著	2013/3/1	奈良大学海外研修報告書	世界自然遺産・パンタナール大湿原の保全に関して、現地研修を通して検討した。
②全国のシシ垣の保存と活用-沖縄県国頭村奥集落のシシ垣の価値	共著	2013/3/1	第6回シシ垣サミット沖縄大会報告集	今回で6回目を迎えるシシ垣サミットにおいて、全国のシシ垣の保存と活用の重要性とともに、開催地の沖縄県国頭村奥集落のシシ垣の価値について分析した。
③日本農業新聞「シシ垣を次世代に」		2014/1/1	日本農業新聞での特集	シシ垣の価値について、農業新聞の立場から紹介している。
④				
⑤				